

ダイフク サステナビリティアクションプラン 2021年度実績

テーマ	マテリアリティ	SDGs	KPI (実績評価指標)		2021年度の目標および実績	
			スコップ	2021年度 (目標)	2021年度 (実績)	
スマート社会への貢献	革新的技術開発、発明促進		①イノベーション投資額(※1) ②特許登録件数 (累計)	グローバル	①150億円 ②3,600件	①130億円 ②3,726件
	新規領域の創出		新業態・新市場への進出、新商品の上市	グローバル	・大学・企業との共同研究や協業による開発 ・新たな自動化ソリューションの提供 ・新規顧客の開拓、グローバルでのビジネスエリア拡大 ・サービス事業の拡大	・複数の大学や外部研究機関とのオープンイノベーションによる新製品の開発を推進 ・自社開発のピースピッキングロボットの提供開始 ・ドイツAFT Industries AGとの戦略的提携により新規顧客の開拓・グローバルでのビジネスエリア拡大 ・サービス売上高：前年度比+166億円 (+14%)
	スマート・ロジスティクスによるお客さまニーズへの対応		製品・サービスへの先端技術の導入	グローバル	・無線・5G技術、二次電池の活用 ・AI技術を活用した高効率なシステム、予知保全システム導入 ・給電装置の高度化による消費電力の削減 ・IoT活用による保守サービスの効率化	・無線・5G技術の導入検討実施 ・各種二次電池の評価実施中 ・AIを活用した高効率搬送システムを開発し、導入済み ・予知保全システムを試験導入し、データ収集実施中 ・消費電力の削減を実現する高度な非接触給電装置を開発中 ・各種センサーおよびリモート機能を活用した保守サービスを開始
製品・サービス品質の維持向上	グローバル化による生産の最適化		最適地生産実現に向けた生産拠点の新設・増設、その他の対策実施	グローバル	・グローバルでの調達ネットワークの構築と生産技術の共有 ・海外子会社における対応力 (営業→生産→サービス) の強化 ・集約・内製化による最適分担生産	・グローバルでの調達先の開拓と調達品の品質検証を実施中 ・製作手順や検査などの生産技術について海外子会社へ展開 ・海外子会社の人材育成により対応力 (開発・設計・製作など) を強化 ・製品ごとに最適地生産を図るべく、集約・内製化および新工場の建設を実施
	製品品質、製品安全の追求		①製品・システムの安全に関する重大事故(※2)発生件数 ②生産拠点におけるISO9001統一認証(※3)取得比率 ③セーフティアセッサ資格(※4)取得者数	①② グローバル ③日本	①0件 ②60% ③160名	①0件 ②62% ③178名
経営基盤の強化	ガバナンスの強化	-	①取締役会の実効性向上 ②社員意識の徹底 ③確実な内部監査実施	グローバル	①実効性向上への取り組み実施 ②グループ行動規範のグローバルでの浸透策実施 ③国内部署・海外子会社での内部監査 (全300件/3カ年) 実施と内部評価の適合維持	①従来取締役会実効性評価アンケートに加え、一部役員へのインタビューを実施 ②グループ行動規範を解説した「コンプライアンス・ガイドブック」を6言語でリリースし、グローバルに周知 ③同ガイドブックやコンプライアンスの考え方に関するeラーニングをグローバルで順次実施 ④125件 (国内103件、海外9件、特定監査13件) ⑤内部評価は適合と判定
	コンプライアンスの徹底		贈収賄に関する研修実施	グローバル	受発注権限を持つ国内外全対象者への研修実施・フォローアップ	グローバル共通のコンプライアンス研修資料を日本語と英語で作成し、eラーニングを実施
	リスクマネジメント		重要リスクへの対策実施	グローバル	定期的なリスクアセスメント、リスク対応トレーニングの実施	国内外の役員49人を対象にリスクアセスメントを実施し、5つの重要なリスクを特定
	サプライチェーンでの責任ある調達		CSR調達制度の確立、および運用範囲拡大	グローバル	CSR調達基準の見直しと新規ガイドライン策定、国内外への展開	新規ガイドラインの策定に向けて各種調査を実施
	情報セキュリティの強化	-	①グローバル情報セキュリティ教育実施回数 ②グローバルメール訓練実施回数	グローバル	①2回 ②3回	①2回 ②3回
	透明性の高い情報開示と戦略的なコミュニケーションの実践		①株主・投資家との対話件数(※5) ②ステークホルダーとのコミュニケーション活性化	①グローバル ②日本	①370件 (ESG関連10件) ②理工系学生向けモノづくりイベント実施、社員による社会貢献活動への参画	①376件 (ESG関連16件) ⇒ 1,241社 (ESG関連52社) ②理工系学生向けモノづくりイベント「DAIFUKU Presents Discovery Hackathon 2021」を実施し、国内外の学生と交流 ・滋賀地区を中心に清掃ボランティアや社会福祉法人とのタイアップイベントなど、地域への貢献活動を実施
人間尊重	労働安全衛生の徹底		①度数率：日本 (海外) ②強度率：日本 (海外) ③労働安全衛生研修受講延べ人数 ④重篤災害(※6)発生件数	グローバル	①0.4(0.9) ②0.02(0.03) ③1,500名 ④0件	①0.21(0.65) ②0.002(0.009) ③1,627名 ④0件
	ダイバーシティ&インクルージョン		①女性管理職数 ②障がい者雇用率 ③男性の育児休業取得率	日本	①19名 ②2.3% ③5.0%	①20名 ②2.54% (2021年6月1日付のデータ) ③8.7%
	働きがいのある職場環境の整備		①有給休暇取得率 ②ストレスチェック高受検率維持 ③心と体の健康づくりイベント実施	日本	①73% ②96% ③主要拠点を中心としたイベントの継続実施	①73% ②97% ③運動セミナーや体操プログラムなど、オンラインを活用したイベントの拡充 ・大阪本社および滋賀事業所でウォーキングイベントを実施
	人材の育成		①管理職層および管理職候補への教育強化 ②オンラインを活用した研修の展開と自律的な学習の促進	日本	①昇格候補者の特性に応じた教育の実施 ②研修教材のオンデマンドライブラリ整備	①2022年度の管理職昇格者向けに経営や労務管理に関する研修と適性検査を実施 ・2023年度以降の管理職候補者向けに昇格推薦要件科目を開講 ②社内講師による研修動画を、階層別研修にて活用開始 (計16プログラム)
	人権配慮		①人権に関する職場理解促進 ②人権デュー・ディリジェンスの実施	グローバル	①グループ社員への人権研修実施 ②人権方針策定、社内外への周知、デュー・ディリジェンス実施	①国内グループの管理職向けにハラスメントセミナーを実施 (3回) ②人権方針を策定・開示。グループ内へ動画や社内報で周知
事業を通じた環境貢献	事業運営における環境配慮		①自社CO2排出総量削減率 (2018年度比) ②サプライチェーンCO2削減プログラム(※7)参加企業率 ③廃棄物のリサイクル率	①③ グローバル ②日本	①2.5%削減 ②32% ③海外拠点調査、目標設定	①13.8%削減 ②36% ③99%
	環境配慮製品・サービスの拡充		①製品、サービスを通じたCO2削減貢献量(※8) ②環境貢献物件(※9)売上高比率 ③新製品のリサイクル可能率	グローバル	①30,000t-CO2 ②43% ③90%	①69,694t-CO2 ②63% ③86%

※1：研究開発費+DX投資額  
 ※2：当社の製品・システムの不具合を原因とした稼働中における死亡事故および重傷病（治療に要する期間が30日以上）の負傷・疾病）事故  
 ※3：同一の認証機関による同一基準・スケジュールでの審査を実施し、認証を取得・維持すること  
 ※4：主に設計者を対象とした国際安全規格に基づく安全の知識、能力を有することを認証する資格  
 ※5：2022年度から目標を「対話社数」に変更  
 ※6：自社の業務中における死亡事故（労働災害）  
 ※7：調達先におけるCO2排出削減に向けた取り組み（目標の共有と削減対策支援など）に関する当社独自の枠組み  
 ※8：お客さまに納入した製品・サービスから排出されるCO2排出量を、基準年度である2011年度時点の製品・サービスによるCO2排出量から差し引いたもの  
 ※9：ダイフクエコプロダクト認定製品などを通じて、お客さまに環境配慮の面で貢献した物件（プロジェクト）